

相模原市及び相模原市米軍基地返還促進等市民協議会による要請結果について

次のとおり実施しましたので、お知らせします。

1 日時

令和5年12月12日(火)午前10時～午後3時15分

2 要請者(11名)

相模原市

相模原市米軍基地返還促進等市民協議会

(会長：相模原市長、副会長：市議会議長・市自治会連合会会長、理事：相模原市副市長・市議会議員・地区自治会連合会会長等)

3 要請内容 基地の返還等、米軍基地問題に関すること。

4 要請先等

要請先	対応者
在日米陸軍司令官 在日米陸軍基地管理本部司令官 (キャンプ座間)	在日米陸軍基地管理本部司令官 マーカス ハンター大佐
在日米海軍厚木航空施設司令官 (厚木基地)	伊東 俊之 渉外担当民事部長
駐日米国大使	ダグラス フリッター 安全保障政策課 課長代理
防衛大臣	大和 太郎 地方協力局長
外務大臣	辻 清人 外務副大臣

※横田基地に対しては、在日米空軍第374空輸航空団司令官宛ての要請書を12月8日(金)に横田基地へ持参し手交

5 対応者の主な発言

【キャンプ座間】

- ・要請内容については、適切な政府レベルで扱うよう在日米軍に伝達する。
- ・土地の返還交渉は、全て日米政府間で行うものである。基地の機能強化、恒久化につながる施設整備や運用の変更に関する要請については、適切な政府レベルで扱うよう在日米軍に伝達する。
- ・ヘリコプターの騒音について、入学試験や日本の祝日はヘリコプターの運用を控えてほしいという要望を定期的に頂いており、できるかぎり要望に応えられるよう努力をしている。また、今後も要望に応えられるよう努力するとともに軍用機の安

全確保を行っていく。

- ・キャンプ座間所属のヘリコプターについては、今後も定期的な点検及びメンテナンスを行い、日米両コミュニティの安全を第一に運用に努めていく。
 - ・ゴルフボールの飛び出しについては、大変深刻に受け止めている。新しい防止策として、5番ホールでの左利きゴルファーのティー使用及び6番ホールのティー使用を禁止した。引き続き、防止策の有効性をモニターするとともに、評価していく。
- また、防球ネット支柱の安全に関する住民の懸念は、承知しており、安全を最優先事項に今後も定期的な安全点検を行っていく。事故を未然に防ぐために、今後も相模原市及び南関東防衛局と協力し、情報共有に努めていく。
- ・訓練については、有事及び人道支援・災害救援活動に備えるために行っている。日米安全保障条約に対する私たちの任務をご理解いただきたい。

【厚木基地】

- ・ヘリコプターの騒音やこの度の部品落下、オスプレイ等の今回の要請内容については、司令官及び関係機関に伝えてまいりたい。
- ・ヘリコプターの部品落下について、市民の皆様には不安を与えていることを認識している。安全の確保は非常に重要であり、引き続き安全対策の徹底に努めていくとともに、可能な限り透明性をもって対応していきたい。
- ・オスプレイの事故についても、事故原因等については調査中であるが、関係機関と連携を図り、今後とも適時・適切な情報を提供してまいりたい。

【米国大使館】

- ・基地は、日米同盟に重要な役割を果たしており、相模原市に感謝申し上げる。
- ・米軍の駐留が市民生活に課題を生じさせていることは理解している。このため、大使館は、地元への影響を最小限に抑えるため尽力している。
- ・大使館として、地元の方々の意見等を伺うことは重要である。今日の要請の内容は、大使館の上層部と米軍に共有する。

【防衛省】

- ・米軍の安定的な運用への協力、理解に感謝したい。
- ・返還4事案は、貴市の道路整備、市民の安全確保に寄与するものであり、米側と引き続き協議していく。
- ・我が国を取り巻く安全保障状況は、年々厳しさを増しており、当省としては、米軍の安定的な運用は必須と考えているが、それには地元の理解が必要である。現在のところ、貴市内の基地の機能変更等の情報は米軍からはないが、もしある場合には、適時・適切な情報提供に努める。
- ・ヘリコプター騒音については、米軍も高度を上げて飛行するなど配慮している。引き続き、市民の皆様への影響を最小限にするよう、米軍に求めていく。

・オスプレイの墜落事故については、防衛大臣及び外務大臣から、安全の確保がされてからの飛行再開を要請しているところ。米軍が全てのオスプレイの飛行停止を発表したが、当省としては、飛行の安全確保が最優先事項と認識している。オスプレイについては、今後も説明責任を果たしてまいりたい。

・住宅防音工事の第一種区域見直しについては、過去の事例と同様に、経過措置を設け、影響を受ける住民を対象としての説明会を実施するなど丁寧に対応する。

・ゴルフボールの飛び出しについては、遺憾に思う。米軍とさまざまな対策を講じており、今後も飛び出しが生じないよう尽力する。

・米軍の訓練について、日米安全保障条約上、米軍には訓練が認められているが、どのような訓練でもできるわけではない。地元住民の安全に最大限配慮して訓練を実施するよう米軍に求めていく。

【外務省】

・安全保障を支えていただいていることに感謝を申し上げる。

・今日いただいた要請項目は、米側にしっかり伝えたい。

・この度のオスプレイの墜落事故については、原因究明と安全対策の徹底が不可欠であると考えている。

・航空機騒音、特に夜間の騒音は、市民生活に多大なる影響を及ぼすものと認識している。住民目線で解決に向け取り組んでまいりたい。

・ゴルフボールの飛び出しについては、在日米陸軍としても様々な対策を講じているが当省としてもフォローしていきたい。

・キャンプ座間では、市民と基地との様々な交流が生まれている。そうした地域の目線についても重視した対応をしてまいりたい。

問合せ先 基地対策課 電話 042-769-8207(直通)
